



▲北海道東海大学ロシア祭

※ロシア祭とは…北欧で12月13日(日本の旧暦の冬至)に行われるキリスト教徒の聖人、サンタ・ロシアにちなんだ祭。ロシアの語源には光(ルクス)という意味もあり、一年で一番日の短い時期に、重要な光を意味する祭でもある。



▲初めてのもちつき、よいしょよいしょ



地域ぐるみで国際交流

南沢地区は、幼稚園から大学まであり、区内でも文教地区の一つとして知られています。この地区では、このような地域の特性を生かし、町内会連合会が中心となって大学と連携を取りながら、地域ぐるみで特色あるまちづくりを進めています。留学生との交流もまちづくりの大きな目標の一つとして盛んに行われています。

北海道東海大学は、主に北欧諸国から毎年四月と九月にそれぞれ二十人ほどの留学生を受け入れています。

同大学地域連携研究センターの西村弘行所長は、「留学生の中には、大学の授業ばかりではなく、日本の文化に直接触れたいと思っている学生もたくさんいます」と話し、「なるべく多くの留学生が地域行事に参加することにより日本の習慣や日本人の優しさなど、多くのものに関心を持ち学んでほしい」と地域との連携の大切さを語ります。昨年十二月七日に南沢町内会で行われたもちつき大会に

は、同大学から二人の留学生が参加しました。

南沢地区町内会連合会女性部長の須藤八恵子さんは、「二人ともおもちを見るのが初めてのようでした。集まった皆さんから親切に箸の使い方や食べ方を教えてもらい、大変感激していました」と語り、「これからも多くの留学生が地域のいろいろな行事に参加し、地域のひととの交流により、日本の文化を肌で感じ取ってもらいたい」と話していました。

同連合会では、来年度からふれあい交流サロンや交通安全全キャンペーンなどにも留学

生を招待し、今まで以上に地域との交流を深めていきたいと考えています。

また、北海道東海大学では、今年の五月から七月まで、外国人講師などを招き、南区民センターで「食文化のはなしと各国の伝統料理教室」を公開講座として始めます。

区では、これからも札幌国際プラザと協力しながら、国際交流活動を支援していきたいと思っています。

皆さんも、さまざまな機会を利用し、外国人と楽しく交流を深めながら、地域ぐるみで国際交流の輪を広げてみませんか。

定山溪地域の外国人宿泊者数年度別推移



札幌の奥座敷定山溪。区民や市民の憩いの場としてばかりではなく、全国からたくさんの観光客が訪れます。近年は、外国からの観光客も増加。札幌を訪ねる人々を温かく迎える「おもてなしの心」を持ち、外国人に優しく接することも、国際交流の一つです。

札幌市の区別外国人登録数

(平成15年11月1日現在)

区	外国人登録数(人)
中央	1,935
北	1,629
東	1,103
白石	627
厚別	447
豊平	1,230
清田	423
南	531
西	505
手稲	259
全市	8,689

国際交流に関する問い合わせは？  
札幌国際プラザ ☎ 211-2105  
<http://www.plaza-sapporo.or.jp/>  
所在地 中央区北1条西3丁目MNビル

